

■山崎今朝弥 弁護士。社会主義関係事件殆どを弁護。奇行や奇文で知られる。終生自由法曹団の主要メンバー。

やまざきけさや

西南戦争・・1877 = 長野県諏訪郡川岸村(岡谷市)の農家に生まれる。

明治14年政変1881 = 4歳：

帝国大学始・1886 = 9歳：

帝国憲法発布1889 = 12歳：

日清戦争始・1894 = 17歳：

日清戦争終・1895 = 18歳：

田中正造直訴1901 = 24歳： 明治法律学校を卒業。司法官試補となったが3ヵ月で辞職して、
教科書疑獄・1902 = 25歳： 渡米。

苦学しながら、幸徳秋水・岩佐作太郎ら社会主義者と交わり、

日露戦争始・1904 = 27歳：

日露戦争終・1905 = 28歳：

韓国反日暴動1907 = 30歳： 帰国して、弁護士を開業。

上告審を得意とし、

韓国併合・・1910 = 33歳： *＜大逆事件＞以後、社会主義弁護士として活躍、布施辰治と併称され、また"米国伯爵"を称するなど奇行で知られる。

明治天皇没・1912 = 35歳：

大正政変・・1913 = 36歳：

ロシア革命・1917 = 40歳： 平民大学を創立し、{平民法律}を創刊。

第一次大戦終結・1919 = 42歳： {社会主義研究}を発行。

大暴落・・・1920 = 43歳： {平民大学}を拠点に、堺利彦とともに社会主義者の大同団結を企て、日本社会主義同盟を結成した。

原敬首相暗殺1921 = 44歳： 自由法曹団結成に参加。同盟解散後もアナ・ボル両派の連携を試み{労働週報}を発行。「弁護士大安売」、

水平社結成・1922 = 45歳：

関東大震災・1923 = 46歳： <三悪法反対運動>を促進した。

護憲三派圧勝1924 = 47歳： 奇文集「地震憲兵火事巡査」には貴重な史料を含む。日本フェビアン協会創立以来、中間派無産党に属し、

円本時代始・1926 = 49歳： *雑誌{解放}を継承して、以後数年間に、「解放群書」約50冊を刊行。

満州事変・・1931 = 54歳：

五一五事件・1932 = 55歳： 社会大衆党結成に参加。

日中戦争始・1937 = 60歳：

大政翼賛会・1940 = 63歳：

日米開戦・・1941 = 64歳：

敗戦・・・1945 = 68歳： <敗戦>後、自由法曹団再建大会で顧問となり、

三大事件・・1949 = 72歳： *＜三鷹事件＞＜松川事件＞の弁護人として活躍し、

独立回復・・1951 = 74歳：

自衛隊発足・1954 = 77歳： 没した。

みずからも建立に協力した東京都港区の青山墓地の解放運動無名戦士の墓に葬られた。

「没年日本史人物事典」, 平凡社百科事典,